


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和元年 8 月 19 日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第 9 号	質問議員	10 番	遠 藤 和 秀	
件 名	東山北 1000 計画推進に伴う生活道路の整備について				
要 旨					
<p>平成 22 年 6 月に「東山北 1000 まちづくり基本構想」、平成 23 年 3 月に「東山北 1000 まちづくり基本計画」、平成 26 年 3 月に「山北町第 5 次総合計画」が策定されました。それにより、積極的な企業誘致もされ大型商業施設が開店し計画が推進されている。その反面、それによる交通対策、生活道路の整備も必要性が問われてきている状況の中で、次の 3 点について質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 向原保育園前の町道尺里橋中里線(町道 56 号)、水上橋入り口約 40m 付近は、車両すれ違いが出来ず、カーブミラーは設置してあるが見通しも悪く対向車が先に入って来た時に急ブレーキを掛ける場合もあり、どちらかがバックし、すれ違いするのが現状である。特に中学生の通学路になっており保育園の送り迎え時間にはとても危険な場所である。2019 年 3 月付けで、第 5 次総合計画(後期基本計画)に記載されている、町道の整備の中で「町民生活に密着した生活道路の整備を推進します。」とある。しかし、具体的にこの箇所の道路整備の位置付けはされていない。このような実情から今後、整備計画に位置付けする考えはないか伺いたい。</li><li>2. 喫緊の課題としては、水上橋入り口付近約 40m は、特に朝夕の通学路としての危険度が高い。ここには、河川側の官地がある。そこを活用した中で、安全対策ができるのではないかとと思うが、町長の考えはどうか。</li><li>3. 水上橋入り口付近約 40m は道路幅が狭い。当面の応急対策は、通学路として歩行者保護のグリーンベルトを設置したらどうか。</li></ol>					